

## 釜石発

### 県・釜石市の合同追悼式

東日本大震災発生から丸6年。県と釜石市合同の追悼式が釜石高校で開かれ、犠牲者に鎮魂の祈りが捧



げられました。遺族を代表して鶴住居地区防災センターで妻を亡くした三浦芳男さんは

「二度と悲劇を繰り返すことのない防災対策を強く望む」と述べました。この後、参列者は花を手向け祈りを捧げていました。(3/11 ニュース)

## 宮古発

### 震災当日の津波避難訓練

宮古市では、震災の記憶を風化させまいと子供たちが熱心に津波避難訓練に取り組みました。午前6時



に大規模地震が発生し、大津波警報が発表されたとの想定で行われた訓練では、避難会場となった宮古小学校に次々と市民が集まりました。その会場では子供たちが中心とな

って訓練避難者を迎えたり炊き出しのおにぎりを配ったりしました。(3/11 ニュース)

## 宮古発

### 巨大防潮堤で鎮魂の祈り

地震発生時刻、午後2時46分。宮古市田老の巨大防潮堤では住民およそ400人が集まって犠牲者に鎮魂の祈りを捧げました。総延長



2.4 kmの巨大防潮堤は、かつて地元の人たちが「万里の長城」と呼び地域の誇りとしていました。しかし6年前、津波はその防潮堤をも越え地域を飲み込み200人近い人が犠牲となりました。集まった人たちは海に向かい手と手を取り合って静かに祈り防災を誓っていました。(3/11 ニュース)

## 釜石発

### 根浜海岸「暦の夜船」

釜石の根浜海岸では、船の形の行燈を海に浮かべる「暦の夜舟」が行われました。もとは岐阜県の長良川で行われてきた行事ですが、震災から沿岸被災地でも行われて



います。日蓮宗の僧侶による読経の中、訪れた人たちは津波で犠牲になった人たちの鎮魂を祈っていました。(3/11 ニュース)

## 陸前高田発

### さんりく元気ラジオ!

陸前高田災害FMの菅野陽子さんが、3月11日に行われる陸前高田市の東日本大震災追悼式について伝えてくれました。式は午後2時半から行われ、地震発生時刻の2時46分にサイレンを鳴らし1分間の黙とうを行うという事です。当日は陸前高田市災害エフエムでも2時間の特別番組を放送する予定です。追悼式の様子を中継で伝えたり、スタジオで震災語り部からお話を伺ったりするという事です。菅原さんは、「今後もご遺族の方々、被災された方々に寄り添いながら共に復興に向けて歩み、情報を発信していきたい」と話していました。(3/8)

## 大船渡発

### さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

大船渡「FMねまらいん」の伊藤こずえさんが、綾里地区の「津波記憶石」について伝えてくれました。「津波記憶石」とは、東日本大震災の津波到達地点を記し、その教訓や記憶を100年後にも語り継ぐ事を目的とした石碑で、被災3県で現在までに約30が建立されています。このうち大船渡市三陸町綾里にある石碑は毎年3月11日14時46分、太陽が出ると光と影が1本の線となり、石碑に刻まれている「▼」の真ん中を通るよう設計されていますが、碑自体あまり知られていないという事です。伊藤さんは、「震災を語り継ぐためにも皆さんにぜひ来て頂きたい場所です。」と話していました。(3/15)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122